

ピュアキッズスクール進行要領（案）

対象学年	中学校 1 年生	テーマ	人を傷つける（いじめ）
ねらい	・被害者の心理を理解し、思いやりを持ち、基本的人権を尊重させる。		
	・いじめの犯罪行為の未然防止、被害拡大防止のための強い意志を持たせる。		
	・犯罪行為の認識と刑事的責任、民事的責任の知識を持たせる。		
	授業の展開		ポイント
	★・・・担当教諭、☆・・・警察職員		
導入	★この授業で何を勉強するのかを説明。		自他の権利を大切にし、法律や決まりを守る大切さを学ぶことを伝える。
	★警察職員の紹介（☆自己紹介）		
展 開	☆パネルを見せ、場面説明をする。		
	パネル1・・・同じクラスの友達から叩かれたり、悪口を言われたり、教科書に落書きされる等のいじめを受けているAさん。		子ども達がいじめをどのように認識しているかを見る。
	★発問（例） ・ Aさんはどのような気持ちでしょうか。		
	・ いじめている子はどのような気持ちでしょうか。		
	・ 周囲の子はどのような気持ちでしょうか。		
	・ こんな場面を見た時、あなたならどうしますか。		
	パネル2・・・お金をせびられるようになったAさん。断ると殴られる。		被害者の立場になって考え、解決方法を考える。
	★発問（例） ・ あなたがAさんの立場なら、どうしますか。		いじめの未然防止と被害の拡大防止のための強い意志につなげる。
	パネル3・・・学校に行けなくなってしまったAさん。様子がおかしいことに気づいた親に全部話すAさん。		一人で解決することの難しさと大人に相談する大切さを理解させる。
	★発問（例） ・ Aさんがこのまま誰にも相談しなかった場合、どうなったでしょうか。		
	・ あなたなら誰に相談しますか。		
	パネル4・・・警察に届け出たことで、Bさんグループとその親は警察に呼ばれ、Aさんに謝罪する。		人を心身ともに傷つけることの重大さとその刑事的責任、民事的責任について理解させる。
★発問（例） ・ いじめのない学校にするためにどのようなことに気をつければよいと思いますか。			
まとめ	☆実際にあった事例を紹介し、いじめは犯罪行為に当たる場合もあることや心の傷が一生残る場合もあることを伝える。		
	☆少年が事件を起こしたらどうなるかを説明する。		
	★授業のふりかえりをする。（感想を書かせる、発表させる）		